

## 解答

- |                            |                  |              |
|----------------------------|------------------|--------------|
| ① 直立二足歩行                   | ② 旧石器時代          | ③ 獲得経済       |
| ④ 猿人                       | ⑤ 原人             | ⑥ ネアンデルタール人  |
| ⑦ 埋葬                       | ⑧ 細石器            | ⑨ 新人 クロマニヨン人 |
| ⑩ ラスコ                      | ⑪ 磨製石器           | ⑫ シュメール人     |
| ⑬ 楔形文字                     | ⑭ 青銅             | ⑮ サルゴン1世     |
| ⑯ アムル人 ハムラビ王               | ⑰ ナイルの賜物         | ⑱ ファラオ 太陽神ラー |
| ⑲ メンフィス                    | ⑳ ヒクソス人          | ㉑ ヒッタイト      |
| ㉒ テーベ                      | ㉓ アラム人           | ㉔ パレスチナ      |
| ㉕ インド＝ヨーロッパ語族(印欧語族) 馬      | ㉖ 海の民 鉄器         | ㉗ ユダ王国       |
| ㉘ アメンホテプ4世 テーベからテル＝エル＝アマルナ | ㉙ フェニキア人 アルファベット | ㉚ キリスト       |
| ㉚ ヒッタイト                    | ㉛ イェルサレム         | ㉜ バビロン       |
| ㉜ フェニキア人 アルファベット           | ㉝ ソロモン           | ㉝ リディア王国     |
| ㉝ イェルサレム                   | ㉞ ソロモン           | ㉞ サトラップ 王の目  |
| ㉞ 新バビロニア王国 ネブカドネザル2世       | ㉟ アッシリア ニネヴェ     | ㉟ カエサル       |
| ㉟ アケメネス朝ペルシア               | ㊱ アッシリア ニネヴェ     | ㊱ シュリーマン     |
| ㊱ メディア王国                   | ㊲ アケメネス朝ペルシア     |              |
| ㊲ ダレイオス1世 インダス川            | ㊳ シャンポリオン        |              |
| ㊳ ゴロアスター教                  | ㊴ クノッソス          |              |
| ㊴ ローリンソン                   |                  |              |
| ㊵ ヴェントリス 鉄器                |                  |              |

## 解説

- ①乾燥化の進むアフリカで、サルの一部が樹から降りて直立二足歩行をはじめた。手作業が脳を刺激して大脳も発達、やがて道具を製作することになる
- ②最初の石器は、礫(小石)を別の石で打ち欠き、鋭利な刃をつけた礫石器。打製石器は石核石器(礫石器・握斧)と剥片石器(細石器・石刃)の二つに分類される
- ④1924年、最初に発見されたアウストラロピテクスは「南のサル」の意味
- ⑤原人のときに人類はアフリカを出てアジア・ヨーロッパに進出、旧大陸に広がった原人が30万年前ごろにどうなったかは、今のところ不明。新人の段階でオーストラリア、ベーリング海峡をへて1万年前には南アメリカ南端にまで到達した
- ⑥ダーウィンの進化論は発見の3年後で、大半の世論はこの化石人骨に否定的であった。

ネアンデルタール人は氷河期の西ヨーロッパでは洞窟に住み、火や毛皮で寒さに適応し、マンモスやトナカイなどの狩猟が中心の生活であった

- ⑩鋭い観察と表現力から、単なる呪術以上の意味をもつ「芸術」とする意見もある
- ⑪新石器時代の最大の特色は農耕と牧畜を基盤とした生産経済のはじまりであり、食糧生産革命とも評される。定住村落の最古の遺跡としてはイラクのジャルモ、イスラエルのイェリコなどがあり、いずれも「肥沃な三日月地」に位置している
- ⑫両河の沖積平野では農業生産は豊かであったが、鉱物資源や木・石がなく、豊富な粘土で日干しレンガをつくり、神殿や住居を建設した
- ⑬シュメール兵は槍で武装し裸足であったのに対し、アッカド兵は強力な短弓で武装し、靴(サンダル)をはいていたという
- ⑭復讐法としてあまりにも有名であるが、目的は被害者側の加害者への無制限な報復を禁じ、報復に合理的基準を設けようとしたもので、いわば社会秩序の維持にある
- ⑮ヒクソスは「異国の支配者」の意。彼らによって馬と戦闘用二輪馬車がもたらされた
- ⑯インド＝ヨーロッパ語族は南ロシアの草原地帯でウマを家畜化、銅製武器をもってバルカン半島・西ヨーロッパ・イタリア・ギリシアなどにも進出
- ⑰国家神アモン＝ラーの権威を背景にテーベの神官団は王権を左右する勢力となっていた。イクナートンとは「アトン神に役立つもの」の意。彼は来世信仰を無視したため支持されず、次のツタンカーメン(アモンに生き写しの意)は旧来の多神教を復活
- ⑱謎の民族「海の民」は『旧約聖書』のペリシテ人で、パレスチナの語源
- ⑲アラム語はペルシアやパレスチナでも使われ、イエスもこの言葉を使った
- ⑳アルファベットはギリシア人に受容され、母音を加えられて24文字になる
- ㉑帰還後、イェルサレムに神殿を再建、以後ヘブライ人の宗教はユダヤ教と呼ばれる
- ㉒アッシュルバニバル王は征服地から数万の文書(粘土板)を収集、図書館におさめた
- ㉓ペルシアはイラン高原南部のパルスワという地名に由来する
- ㉔「王の目」は監察官、「王の耳」はその補佐か、スパイのようなものであったらしい
- ㉕人間は善の神アフラ＝マズダとともに倫理を實踐し、悪の神と戦うべきとされた。最後の審判や救世主の到来など、宗教史上重要な教義を初めて唱えた宗教でもある
- ㉖墳墓や死者の書に使われたので神聖文字と呼ばれ、簡略化されたのが民衆文字。ロゼッタ石には、その2種類の文字とギリシア文字とで同一内容の文章が刻まれていた
- ㉗前45年から採用、ユリウス(Julius)＝カエサルは7月生まれなので、7月はJulyとなった。この暦は1582年に現行のグレゴリウス暦が採用されるまで使われた
- ㉘クレタ文明はミノス王の名からミノア文明とも呼ばれ、王宮は外敵に備えた城壁をめぐらさず、開放的な性格を示している。バルカン半島を南下してミケーネ文明を築いたギリシア人をホメロスはアカイア人と総称しているが、この文明を構成する諸王国には官僚と軍人が存在、画題も好戦的でオリエントの専制国家と基本的な性格は似ている

- ④⑧ 妻を誘拐されたスパルタ王の兄であるミケーネ王が、ギリシア諸王に奪還を呼びかけてトロヤに遠征、トロヤは滅亡する。その戦争をテーマにしたのが、ホメロスの『イリアス』と『オデュッセイア』であり、イリアスはトロヤの古称イリオンに由来
- ④⑨ 1953年、**線文字B**がギリシア語であると判明、**線文字A**はサンプルが少なく未解読。ギリシア人は前1200年ごろから半島を南下し定住。その方言により**ドーリア人**、**イオニア人**、**アイオリス人**に分けられる。前1000年までにギリシアは**鉄器時代**に移行

《ONE MORE CHECK：古代文明の発見》

- \* シュリーマン (独)：ホメロスの『イリアス』を実話と信じ、**トロヤ**を発掘
- \* エヴァンズ (英)：ミノス王伝説を信じ、**クレタのクノッソス宮殿**を発掘
- \* シャンポリオン (仏)：**ロゼッタ石**を手がかりに**神聖文字**(象形文字)を解読
- \* グローテフェント (独)：ペルセポリスの碑文のコピーから**楔形文字**を解読
- \* ローリンソン (英)：**ベヒスタン碑文**の**楔形文字**からアッシリア語などを解読
- \* ヴェントリス (英)：ピュロス出土の粘土板からミケーネの**線文字B**を解読

第2日 ポリスを越えて世界帝国へ

(P.8)

解答

- |                     |                          |           |           |
|---------------------|--------------------------|-----------|-----------|
| ① シノイクスモス (集住)      | アゴラ                      | ② イスタンブル  | マルセイユ     |
| ③ 重装歩兵              | ④ ドラコン                   | ⑤ ソロン     |           |
| ⑥ ペイシストラトス          | ⑦ オストラシズム (陶片追放)         |           |           |
| ⑧ ミレトス市             | ⑨ マラトン                   | ⑩ スパルタ    |           |
| ⑪ サラミス海戦            | ⑫ クセルクセス王                | ⑬ テミストクレス |           |
| ⑭ デロス同盟             | ⑮ ペリクレス                  | パルテノン     | ⑯ 民会      |
| ⑰ 奴隷制との共存           | ⑱ ドーリア人                  | ⑲ ペリオイコイ  |           |
| ⑳ ヘイロータイ (ヘロット)     | ㉑ ペロポネソス同盟               | ㉒ デマゴゴス   |           |
| ㉓ エパミノダス            | ㉔ デモステネス                 |           |           |
| ㉕ フィリッポス2世          | コリントス同盟 (ヘラス同盟)          |           |           |
| ㉖ 東方遠征の開始 (前334) から | プトレマイオス朝エジプトの滅亡 (前30) まで |           |           |
| ㉗ アケメネス朝ペルシア        | アルベラの戦い                  |           |           |
| ㉘ アレクサンドリア市         | インダス川                    | バビロン      | ㉙ イブソスの戦い |
| ㉚ セレウコス朝シリア         | ㉛ アレクサンドリア               | ムセイオン     |           |
| ㉜ ラテン人              | ㉝ エトルリア人                 | ㉞ コンスル    |           |

- |                     |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|
| ③⑤ ディクトトル           | ③⑥ 護民官      | ③⑦ 十二表法     |
| ③⑧ リキニウス=セクスティウス法   |             | ③⑨ ホルテンシウス法 |
| ④⑩ 分割統治             | ④⑪ カルタゴ     | フェニキア人      |
| ④⑫ ハンニバル            | ④⑬ ザマ       | ④⑭ 属州       |
| ④⑮ 大土地所有の制限による自作農再建 | 護民官         | ④⑯ ラティフンディア |
| ④⑰ 同盟市戦争            | ④⑱ スパルタクス   | ④⑲ マリウス     |
| ⑤⑰ ガリア              | ケルト人        | ⑤⑱ ポンペイウス   |
|                     | ⑤⑲ アクティウム海戦 |             |

解説

- ③ 専門の軍人がいないギリシアでは、武器を自弁できる市民が義務として防衛に参加。密集隊列を組む兵が一条乱れず敵に対するには、訓練と強固な連帯感が必要であった
- ⑤ ソロンは債務の帳消しで奴隷となっていたアテネ人を救済、身体を抵当とすることを禁じた。また財産(土地)に応じて市民を4ランクに分け、官職就任や参政権・軍事義務をランクに応じて割り当てた。これは**財産政治**(ティモクラシー)と呼ばれる
- ⑥ ペイシストラトスが君臨した20年間は「よき時代」であり、アテネが商工業国として飛躍した時代でもあった。その息子たちがまさきに**暴君**(Tyrant)と化したのである
- ⑦ 30区(デーモス)に分割し、機械的に3区ずつあわせて**10部族制**を創設。地縁・血縁による貴族支配の基盤を解体した。オストラシズムは政争の具として悪用された
- ⑧⑨ イオニア諸都市が**ミレトス市**を先頭に反乱(前500)、アテネは支援するが敗退。ダレイオス1世はアテネへの報復のため、遠征軍をマラトンに上陸させた(前490)、マラソン競技の起源に関するエピソードは、後年のつくり話らしい
- ⑩ 天才政治家**テミストクレス**は前470年ごろ陶片追放に処せられ、ペルシアで没した
- ⑪ 前479年の**プラタイアの戦い**以降、戦場は小アジアへと移り、前449年の**カリアスの和**で終結する。デロス同盟は対ペルシア攻守同盟で、加盟国は平等に一票を行使できるとされたが、アテネは加盟国を意のままに利用、「**アテネ帝国**」と化していく
- ⑫ ペリクレスは**将軍職**にあってアテネを指導した。将軍職は抽選でなく、民会で選ばれた(定員10名、任期は1年で再選可)。**パルテノン**は女神アテナが**パルテノス**(処女)であったことに由来。**ローマのパンテオン**(万神殿)と混同しないように
- ⑬ 民会は**アクロポリス**近くの丘で年40回召集され、定足数は6000名。日常の政務や外交は、抽選された30歳以上の男子で構成される**評議会**(**五百人会**)が担当した
- ⑭ アリストテレスでさえ、奴隷を「生きた財産・家畜」と述べ、何の疑問も感じていない
- ⑮ 市民の10倍以上を占める**ヘイロータイ**の反乱を防ぐために、スパルタ人は常に臨戦態勢をとり、毎年**ヘイロータイ**に対し**宣戦布告**をした
- ⑯ スパルタは**ペロポネソス戦争**中、ペルシアのイオニア支配を認め、資金援助をえた
- ⑰ この同盟で各ポリスは改革や政体変更も禁じられ、実質的な独立性を失った